

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回宍粟市手話施策推進会議	
開 催 日 時	令和元年10月28日（月）午後2時～4時	
開 催 場 所	宍粟市役所 本庁舎 402 会議室	
議長（委員長・会長）氏 名	委員長 岩本 吉正	
委 員 氏 名	<p>（出席者） 岩本吉正、鳥越隆士、池上睦、藤田敏、八木昌幸、尾形治美、門前真弓、春名郷子、坂本幸子、安東智子、井上千景</p>	<p>（欠席者） 八木春男、志野木里美、立花秀則 （関係機関） 学校教育課副課長 中田 社会教育文化財課係長 宮辻</p>
事 務 局 氏 名	三木、平瀬、後藤、伊藤	
傍 聴 人 数	1名	
会議の公開・非公開の区分及び非公開の理由	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	<p>（議題及び決定事項）</p> 1. 手話施策推進方針アクションプランについて 2. 宍粟市手話フェスタ（仮称）の開催について 3. 【災害時用】コミュニケーションボードについて	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
事務局(三木)	ただ今より令和元年度第2回手話施策推進会議を開会する。開会にあたり、岩本委員長よりご挨拶いただきたい。
岩本委員長	<p>本日は、宍粟市の取り組みがより充実していくよう時間の許す限り議論を行いたい。</p> <p>話は変わるが、先日の台風19号において日本各地で災害が多数発生した。長野県の聴覚障害者情報センターでは川の氾濫により1階部分が浸水し、長野県内のろう者宅でも何件か浸水があったと聞いている。</p> <p>大きな被害がでた宮城県や長野県からは救援活動の要請がきており、手話通訳者の派遣が必要とされている。</p> <p>兵庫県聴覚障害者協会でも、手話通訳者の災害派遣の調整を行っているところである。</p> <p>これまでの「災害」は地震や津波のイメージが強かったが、最近台風や大雨などによる河川氾濫や土砂崩れが頻繁に起こっている。兵庫県においても決して他人事では済まされないことであるため、災害時の対策が急務の課題となっている。</p> <p>そして、今回の協議事項(3)では、災害時用コミュニケーションボードについて議題に挙がっているが、これも避難時の対応をスムーズにするために必要な取り組みであるため、十分に審議いただきたい。</p>
事務局(三木)	それでは、次第2の協議事項に移る。これより議事の進行は、岩本委員長にお願いする。
岩本委員長	はじめに、協議事項(1)「宍粟市手話施策の推進方針アクションプラン(案)」について、事務局の説明を求める。
事務局(平瀬)	《資料①に基づき説明》
岩本委員長	<p>まず資料①の2,3ページ、施策1に関するアクションプランについて意見があればお願いしたい。</p> <p>前回と比べると、内容が非常に分かりやすくかつ、具体的に示されている。改めて気がついたことでも構わないので奇譚のない意見をお願いしたい。</p>

鳥越副委員長	<p>まず2ページの2段目「イベントの開催」について、「イベント後において5年間の検証を行い、手話施策の見直しを行う。」とあるが、これはイベントについての見直しか。それとも手話施策全体についての検証を行うという意味なのか。</p> <p>また、検証はどのような方法で行うのか。例えばイベントの参加者にアンケート調査を実施するなど検証方法について伺いたい。</p>
事務局(平瀬)	<p>ここでの検証は、イベントの定期的な開催についての検証を意味している。評価・検証の方法は、参加者へのアンケートの実施、イベントに関わったスタッフなどからも意見を伺い客観的な評価を行いたいと考えている。</p> <p>また、開催後5年間は検証だけを行うのかという意見もあるかと思うが、既存の市主催の行事の中で、手話ブースなどを設置して普及啓発を図っていきたいと考えている。</p> <p>具体的な行事は未定だが、主管課と調整していく。手話ブースの設置にはろうあ協会や手話サークルの協力が欠かせないため、両団体とも意見交換を行いながら進めていきたい。</p>
鳥越副委員長	<p>3段目の「事業所に対する手話の普及」について、目標では8割以上の受講を目指すとあるが、3ページの5年後目標値には、「協力事業者20か所」とある。このあたりの数値の関係性について、明確に記載したほうが良いと思うがいかがか。</p>
事務局(平瀬)	<p>まず、事業者対象の手話教室の受講数を市内事業所の8割以上を目標に取り組みたい。</p> <p>協力事業所というのは、手話教室を受講した事業所のうち手話の取り組みに理解を示し、積極的な普及啓発に協力いただける事業所を対象に登録していきたいと考えており、その目標値を20箇所としている。この2点については、プランの中で再度整理して記載したい。</p>
鳥越副委員長	<p>ちなみに宍粟市の商工会に加盟している事業所は何か所ほどあるのか。</p>
事務局(平瀬)	<p>正確な数はわからないが、100箇所ぐらいはあるのではないかと。商工会にも確認をとっておく。</p>

鳥越副委員長	全体の 8 割とするのであれば、現状の事業所数も把握した上で目標設定を行っていただきたい。
岩本委員長	<p>司会の立場をおいて、私から伺いたい。2 ページの 4 段目について、手話教室受講後の学習意欲を維持することが難しいとあるが、対象は誰を指しているのか。</p> <p>施策の方向性では「市民」に対してとあるが、具体的な計画では市職員や学校なども対象と記載しており、読んでいてわかりにくいと感じた。プランについても、「市民」を含めて整理したほうが良いのではないか。</p>
平瀬主査	手話検定については、当初は市職員を対象に計画していたが、市民が受ける機会を設けてほしいとの意見があり、受験対象者は職員に限らず広げていきたいと考えているため、手話検定の対象については市民も含めた内容に訂正したい。
岩本委員長	他に意見はあるか。
安東委員	<p>手話に関するイベントについて、市内作業所の製品販売を行うという案が提示されているが、可能であれば実際に声を出さずに手話やコミュニケーションボードなどを用いて販売をしてもらえるように呼びかけができないか。</p> <p>こういった体験を取り入れることで、聞こえない人の生活や苦勞などを感じてもらえると思うため、全ての事業所とは言わないが検討してほしい。</p>
平瀬主査	<p>販売会に聞こえない方の体験を取り入れるというのは、非常に良い案だと思う。</p> <p>具体的な調整を進めていく中で、作業所へも働きかけを行っていきたい。</p>
岩本委員長	他に意見はあるか。
藤田委員	イベントについては、ろうあ協会や手話サークルも交えて意見交換の場を設けていただきたい。

事務局(平瀬)	イベントについては、市の方で素案を準備した上で、関係団体と意見交換の場を設けたいと考えている。
岩本委員長	他に意見はあるか。意見がないため、施策 2 に移る。資料①の 4、5 ページについて意見があればお願いしたい。
安東委員	これは情報提供になるが、ろう者の居場所づくりとあるが手話カフェについては現在も開催されている。
岩本委員長	他に意見はあるか。
藤田委員	障害福祉課の窓口に行った際、タブレットを机の中から出されていた。業務時間帯は机に出しておいてほしい。
事務局(平瀬)	タブレット端末は設置通訳者のデスク横の棚に設置しており、業務中は外に出している。ビデオ通話が入ると着信音が鳴るように設定している。
岩本委員長	他に意見はあるか。
井上委員	最近、しーたん手話動画を見ることがあり、店舗でのやりとりについて手話で会話をしていてすごく新鮮に感じた。日常場面でのシーンを取り上げると、聞こえる人もより身近に感じることができる。 また、コミュニケーションボードの作成を検討されているとのことであるが、今後はそういったものを用いたコミュニケーション方法なども動画に取り入れていただき、ろう者との意思疎通は手話だけではないという事を伝えていってほしい。
事務局(平瀬)	井上委員が言われたように、手話以外のコミュニケーション手段を用いた意思疎通についても紹介していきたい。
岩本委員長	他に意見はあるか。
鳥越副委員長	コミュニケーションボード表紙の作成者に推進会議と記載されているが、作成者はあくまで市であるので監修などの表記が適切かと思うがいかがか。

事務局(平瀬)	監修に変更する。
鳥越副委員長	コミュニケーションボードについてもう1点、これは実際にろう者と一緒に検証されているのか。また、検証後の対応についてはどのように考えているのか。
事務局(平瀬)	ボードの内容については、事前にろうあ協会に確認をとったうえで、作成に入りたいと考えている。 また、検証については毎年ろうあ協会が市の防災訓練に参加しているため、訓練の中でコミュニケーションボードを使用して検証を行っていく。
岩本委員長	他に意見はあるか。
藤田委員	コミュニケーションボードは避難所に設置するのか。 これはいくつかのパターンで載っているのだからわかりやすいが、1ページずつ分けるほうが探しやすいのではないか。
事務局(平瀬)	当市では各避難所で担当職員が決まっており、担当者は避難所関係の物品を常時携帯している。その物品の1つとしてコミュニケーションボードを携行してもらえようように防災担当課と調整を行う予定である。
岩本委員長	他に意見はあるか。意見がないため、6,7ページの施策3について意見があればお願いしたい。
尾形委員	7ページの登録意思疎通支援者の養成について、現在登録者数は16名であるが、アクションプランでは18名となっており整合がとれていない。これについてはどのようにお考えか。
事務局(平瀬)	現在、事務事業評価の中で登録者数の目標値を設定しており、今年度の目標値が18名であるため、アクションプランの目標値も18名としている。
岩本委員長	他に意見はあるか。

池上委員	<p>手話通訳者として派遣される立場として意見を申し上げたい。 イベントなどの派遣の場合、主催者側が手話通訳のことをどの程度理解しているかにより通訳のやりやすさがとても違う。 例えば、円滑な通訳を行うための配慮事項などを主催者側に周知するといったことも取り入れてもらいたい。</p>
事務局(平瀬)	<p>宍粟市では団体派遣向けにマニュアルを作成し、依頼団体に配布している。 この他に当日資料等もできる限り提供いただくよう依頼し、当日の通訳が円滑に行えるよう調整を行っている。 池上委員に伺いたい。今後、医療機関に対する手話通訳の理解を進めていきたいと考えているが、良い方法があればご教示願いたい。</p>
池上委員	<p>医療機関などでは、手話通訳として認識してもらえない場合があるため、手話教室などの啓発学習の際に手話や聴覚障害への理解だけではなく、手話通訳への理解を含めて啓発を行うことがポイントとなる。</p>
事務局(平瀬)	<p>カリキュラムの内容について講師と相談していく。</p>
岩本委員長	<p>他に意見はあるか。</p>
八木委員	<p>アクションプランの設置手話通訳者について、複数設置というのは設置通訳者を増員するという事か。</p>
事務局(平瀬)	<p>必要性という点で考えると、設置通訳者の正規化や複数設置などは推進していくべき課題であると認識している。 複数設置となると、現在の業務状況から2名を別々の部署に割くことは困難であるため、増員の必要性についても内部で協議したい。</p>
岩本委員長	<p>他に意見はあるか。</p>
鳥越副委員長	<p>登録手話通訳者の目標値が5年で20名ということであるが、その根拠が曖昧である。少しずつ増員するということは理解できるが、この条例は宍粟市内のどこでも手話通訳が利用できるような</p>

鳥越副委員長	<p>社会を目指しているということなので、宍粟市において必要な手話通訳の件数がどのくらいか、その件数を設置通訳者や登録手話通訳者がどの程度担うのか、或いはひょうご通訳センターに依頼する件数はどの程度必要なのか、こういったことを把握して設定しないと計画の根拠が希薄になってしまう。</p> <p>例えば、過去5年間の手話通訳件数やろう者からの依頼数から、宍粟市で必要な登録者数を根拠として、登録、設置、ひょうご通訳センターがどのような割り当てで派遣を担っていくのかという事を具体的に根拠づけていく必要がある。</p>
事務局(平瀬)	<p>現在の目標値については、統一試験合格者数の目標値を1名としており、登録者数についても年1名増と設定していた。</p> <p>過去5年間での実績などから、派遣の必要数について再度整理したい。</p> <p>《休憩》</p>
岩本委員長	<p>引き続き、アクションプランについて意見があればお願いしたい。</p>
坂本委員	<p>6ページの1つ目になるが、教室受講者向けに復習を兼ねたDVDを作成されるということだが、これは非常に良い取り組みだと思う。</p> <p>目標のところに受講者に配布とあるが、業務等で教室や講座を申し込めない事業者に対して動画やパンフレットを作成し、配布してはどうか。啓発の方法を増やすことで、事業所の理解もより進んでいくのではないか。</p>
事務局(平瀬)	<p>DVDの活用方法については、講座受講者に限定せず活用したい。</p> <p>動画等については、出来上がった段階で委員の方にも1度ご覧いただきたいと考えている。</p>
岩本委員長	<p>他に意見はあるか。意見が無い場合、協議事項(2)「宍粟市手話フェスタ」について事務局の説明を求める。</p>
事務局(平瀬)	<p>《資料②に基づき説明》</p>

岩本委員長	手話フェスタについて意見があればお願いしたい。
八木委員	基調講演も良いが、手話を学んで楽しめるようなイベントにしていきたい。対象者は子供から大人まで幅広く想定しているのか。
事務局(平瀬)	対象者は限定していない。また、市内市外も問わない。
坂本委員	主催に宍粟市と宍粟市手話施策推進会議とあるが、実行委員会を立ち上げて進めていくのか。
事務局(平瀬)	当日までの準備などについては市が主体的に進めていくが、イベントの内容や周知、当日の役割などについては団体や支援者にも協力をいただきたいと考えている。
岩本委員長	他に意見はあるか。
尾形委員	イベントの内容について、サークル連絡会でも何かアイデアがないか提案したい。
事務局(平瀬)	イベントには当事者や支援者の方の協力が必要不可欠であるため、ぜひお願いしたい。また、意見を伺う機会も設けたい。
岩本委員長	宍粟市では今回が初めての手話イベントとなるが、来年2月2日に加東市で手話フェスタが開催される。1度、視察に行ってみようか。
事務局(平瀬)	加東市の手話フェスタについては、担当課にも案内をいただいております。担当で見学に行きたいと考えている。
岩本委員長	手話フェスタについては以上でよいか。来年2月2日、都合のつく方は加東市手話フェスタの見学に行ってください。 時間が迫っているため、協議事項(3)「災害用コミュニケーションボード」について。事務局の説明を求める。
事務局(平瀬)	《資料③に基づき説明》

岩元委員長	資料③について意見があればお願いしたい。
藤田委員	今年 7 月の大雨の時に社協からファックスが届き、避難所ははりま一宮小学校と書かれていた。私は伊和高校が避難所だと思っていたため、どこへ避難すれば良いのか迷った。
岩本委員長	災害時の連絡手段について、コミュニケーションボードとは異なるが、この件について市から意見があればお願いしたい。
事務局(平瀬)	避難所の場所が変わっていたと報告があったが、ファックスの送信先は社協から送信されたのか。
藤田委員	一宮の社協からだったと思う。ファックスも残しているが、夕方の 5 時か 6 時頃に届いた。
事務局(三木)	災害時の情報発信については、社協ではなく市の消防防災課から発信していると思うが、統一的な情報発信に務めるようこちらから連絡しておく。
藤田委員	できれば 1 か所から正しい情報をいただけるとありがたい。
岩本委員長	コミュニケーションボードに話を戻す。何か意見はあるか。
八木委員	2 ページの電話のイラストは、相手から電話がかかってくるという意味か、それとも電話番号という意味か。ファックス番号や携帯のメールアドレスは必要ないか。
事務局(平瀬)	ここで把握したいのは避難者の連絡先や、名前、住所などの個人情報取得のためのイラストとしている。 イラストには「電話」とあるが、正確には「電話番号」が正しいため、ファックス番号等の記載方法を含めて見直したい。
尾形委員	生年月日のイラストが「赤ちゃん」になっているが、イラストがわかりにくい。
事務局(平瀬)	イラストを変更する。

藤田委員	これは避難所の受付でやり取りする時に使われるものなのか。
事務局(平瀬)	避難者名簿作成時や避難所生活中での使用を想定している。
安東委員	これはろう者だけではなく、高齢で聞こえにくい方も対象になっているということで良いか。 4, 5 ページについても平仮名で文字も大きいためとても見やすいが、2, 3 ページ目については、文字やルビが小さい。高齢者への配慮や工夫はしてもらえるのか。
事務局(平瀬)	可能な範囲で文字の調整を行う。
安東委員	用紙を A3 にしてもらいたい。
事務局(平瀬)	先程申し上げたが、このボードは避難所担当職員が携行するバックに入れておくことを想定して A4 サイズで作成している。
岩本委員長	他に意見はあるか。
藤田委員	ろうあ協会の集まりの際に、コミュニケーションボードの見やすさなどについて会員から意見を聞いておく。
岩本委員長	他に意見はあるか。
尾形委員	6 ページについて、ペンのイラストがあるのでメモ帳のイラストを加えることができないか。
事務局(平瀬)	調整する。
岩本委員長	他に意見はあるか。
八木委員	5 ページ左下の「からだのどこですか？」のイラストはもう少し大きくできないか。
藤田委員	イラストは指さして体の場所がわかる大きさが良いと思う。

八木委員	体のイラストは用紙 1 面に入れてほしい。イラストは着衣の状態で良いと思う。
藤田委員	実際にイラストに○を付ける方法が取れないか。
尾形委員	全身のイラストを用紙全面にするとして、体の前後両方のイラストを載せれば背中や腰であっても対応できる。
岩本委員長	明石市の障害福祉の手引きだったと思うが、同じような内容が掲載されていたので、そちらも参考にしてもらいたい。
事務局(平瀬)	意見を参考に修正する。背面のイラストについてはいかがか。
岩本委員長	個人的にはある方が良い。背中他に頭部などを入れても良いのではないか。
八木委員	頭部のイラストがあるバージョン、ないバージョンの両方を作ってもらって判断したい。
岩本委員長	具体的な内容についてはろうあ協会やサークルとも相談してもらいながら作成いただきたい。他に意見はあるか。
春名委員	日頃、民生委員として高齢者宅を周ることが多く、その中には聞こえにくい方もいる。コミュニケーションボードが完成したら提供いただくことは可能か。
事務局(平瀬)	災害用としているが、自治会や民生員活動の場面でもぜひ活用いただきたい。使用中で気がついたことなどを報告いただければ見直しの参考にさせていただく。
春名委員	12月に役員改選があるため、12月以降に提供いただけるとありがたい。
事務局(平瀬)	完成次第提供する。
岩本委員長	他に意見はあるか。意見がないため、本日の議事は以上で終了する。進行を事務局へ返す。

事務局(三木)	<p>閉会にあたり、鳥越副委員長より挨拶をいただきたい。</p>
鳥越副委員長	<p>本日はコミュニケーションボードや手話フェスティバルなど、新たな取り組みについて提案がなされ、議論が出来たと思う。</p> <p>手話言語条例制定当初、各委員の頭の中には様々なイメージがあったかと思う。それが具体的にやりつつあるのかなといった印象を受けた。</p> <p>今年度で4年目が終了し、次年度以降の取り組みを進めるに当たり、「実施しました。」の報告で終わるのではなく、各施策の具体的な内容に突っ込んで事業の成果なども照らし合わせながら評価していく必要があると感じた。</p> <p>次回は、事業評価などについての提案があると思うため、引き続き積極的に意見交換をお願いしたい。</p> <p>以上で、第2回手話施策推進会議を閉会する。</p>

発言者の表記は、「〇〇議長」、「〇〇委員」、「事務局」とする。